

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は腹痛・水様性下痢・血便・嘔吐で、感染地域は国内、推定感染経路は経口感染です。
本年の累積報告数は15例となっていますが、そのうち12例が最近の7, 8, 9月の報告で、引き続き十分な注意が必要です。手洗いや調理器具の消毒(つけない)、食材の冷蔵保管(ふやさない)、食品の十分な加熱(やっつける)等、食中毒予防の3原則を徹底してください。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- マラリアの報告が1例(40歳代男性)あり、症状は発熱・悪寒・頭痛・脾腫です。推定感染地域は国外(西サハラ他)で、推定感染経路は蚊媒介です。本年の累積報告数は3例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(10歳未満男性)あり、症状は発熱で、感染地域は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は49例となっています。
- 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は49例となっています。
- 手足口病の定点当たり報告数は1.16(50例)となり、前週1.81(78例)よりも減少しました。伏見区では第16週以降、21週間にわたり警報に相当する状態が続いていましたが、第37週は定点当たり報告数1.71(12例)となり、京都市の全ての区で警報終息に相当する状態となりました。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

- 京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.81(121例)となり、前週と同数となりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 定点医療機関の変更について

- 第36週から定点医療機関(山科区)の変更及び追加があり、小児科定点数が42から43に変更になりました。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 237例(肺結核 121例, その他結核 38例, 潜在性結核感染者 78例)うち喀痰塗抹陽性 58例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 15例】
- 四類:マラリア(熱帯熱) 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 49例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 49例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.03	2
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.40	146
	② RSウイルス感染症	2.81	121
	③ ヘルパンギーナ	1.23	53
	④ 手足口病	1.16	50
	⑤ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	48
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

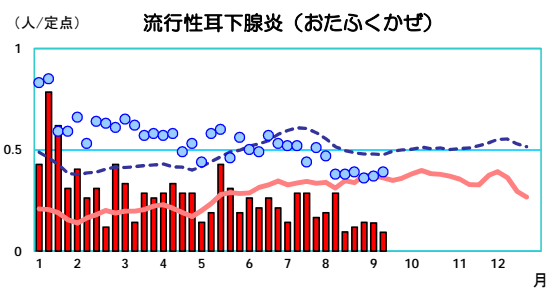
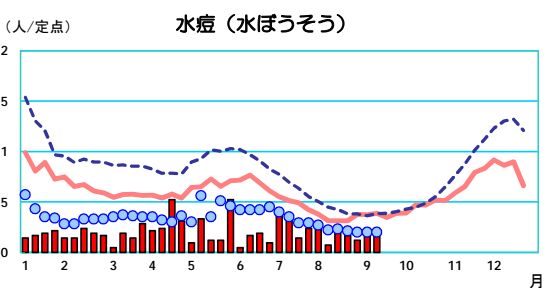
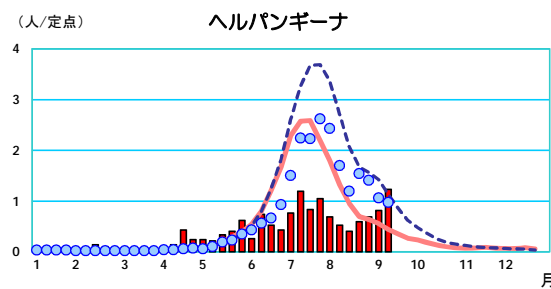
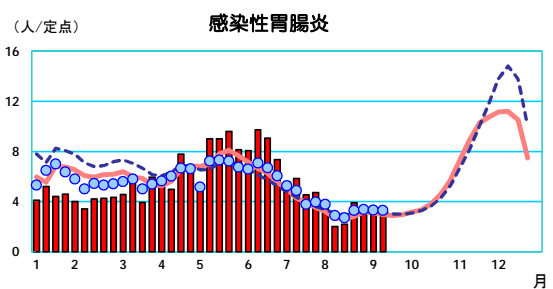
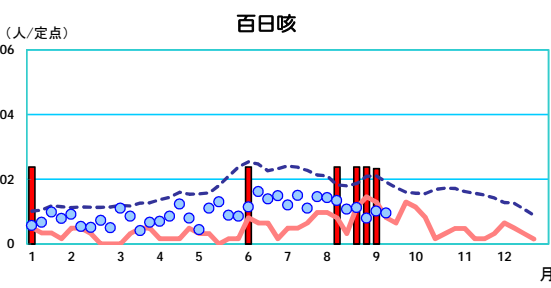
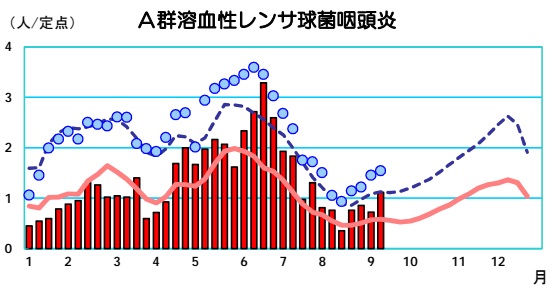
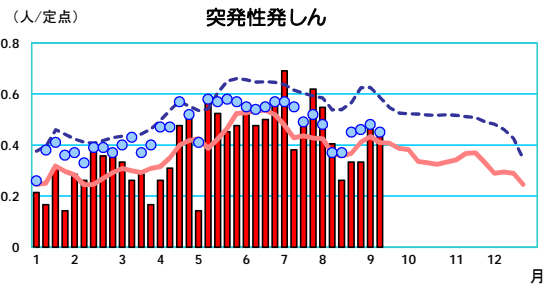
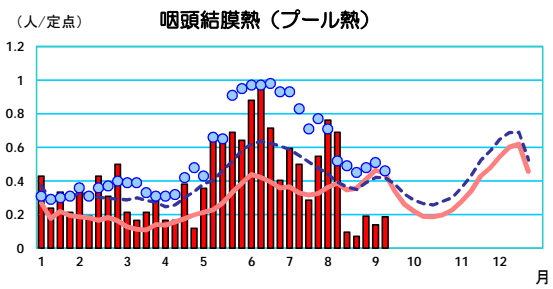
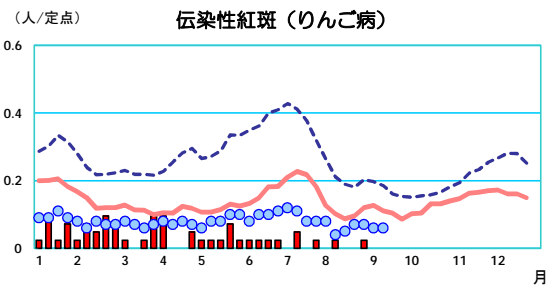
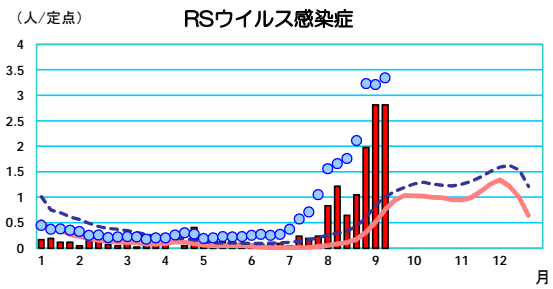
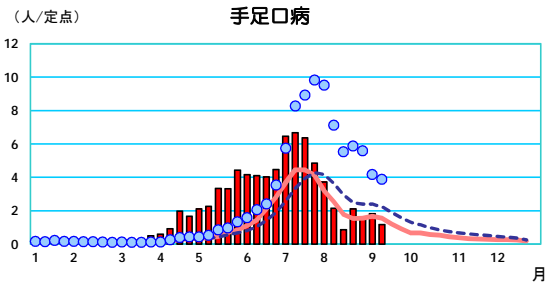
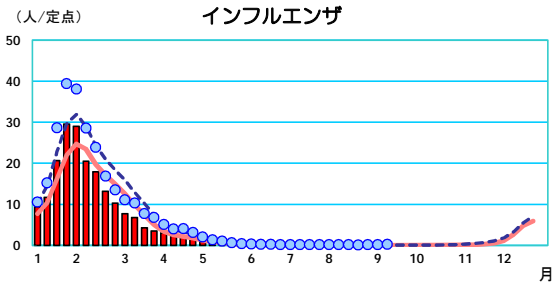
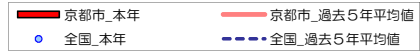
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年9月20日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第37週(9月11日～9月17日)トピックス: <RSウイルス感染症>

京都市のRSウイルス感染症の定点当たり報告数は2.81(121例)となり、前週と同数となりました。全国の定点当たり報告数は3.34となり、前週(3.21)より微増しています(図1)。近畿2府4県の定点当たり報告数の推移も本市と同様の傾向を示しています(図2)。

過去10年の全国の定点当たり報告数推移を見ると、ここ数年報告数の増加が見られます(図3)。国立感染症研究所の感染症週報「2017年第34号」(<https://www0.niid.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2017/idwr2017-34.pdf>)には、平成23年度にRSウイルス抗原検査が従来、「入院中の患者」にのみ公的医療保険適用であったものが外来の「1歳未満の乳児」等に拡大された影響も有り年々増加してきたが、平成26年以降は安定して来ているとの記述があります。そこで、平成26年以降のピーク時の報告数をピックアップすると、7000～8000例で推移していますが、本年は既に第35週以降3週連続で10000例を超えています。本疾患は、翌春まで流行が続くことが多く、今後も警戒が必要です。

感染経路は患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染とウイルスの付着した手指や物品を介した接触感染です。特に、家庭内では両方の感染経路が重複するため、感染しやすい環境といえます。咳などの症状のある大人はマスクを着用し、飛沫による感染を防ぎましょう。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめに消毒するほか、流水及び石けんによる手洗いで接触による感染を予防しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

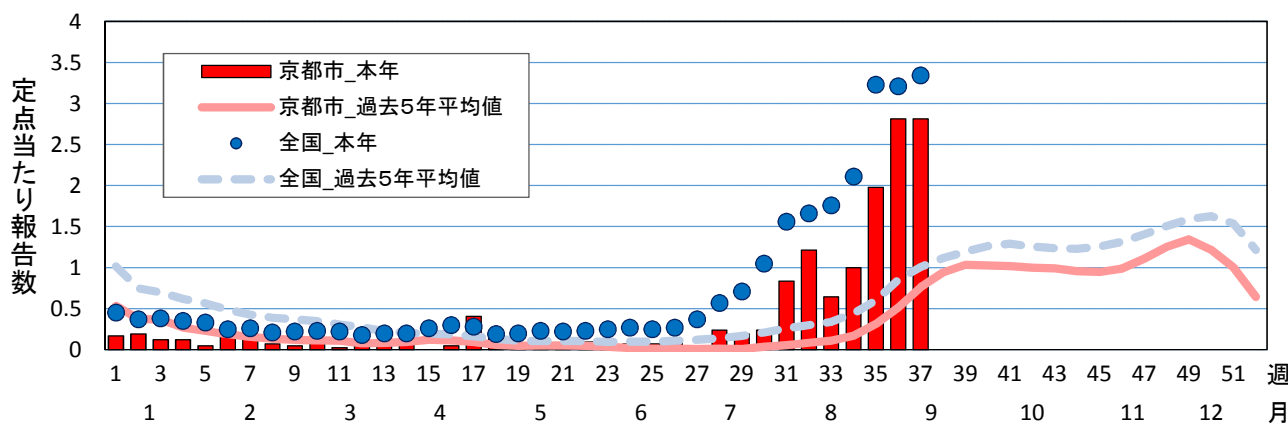


図2 近畿の定点当たり報告数の推移

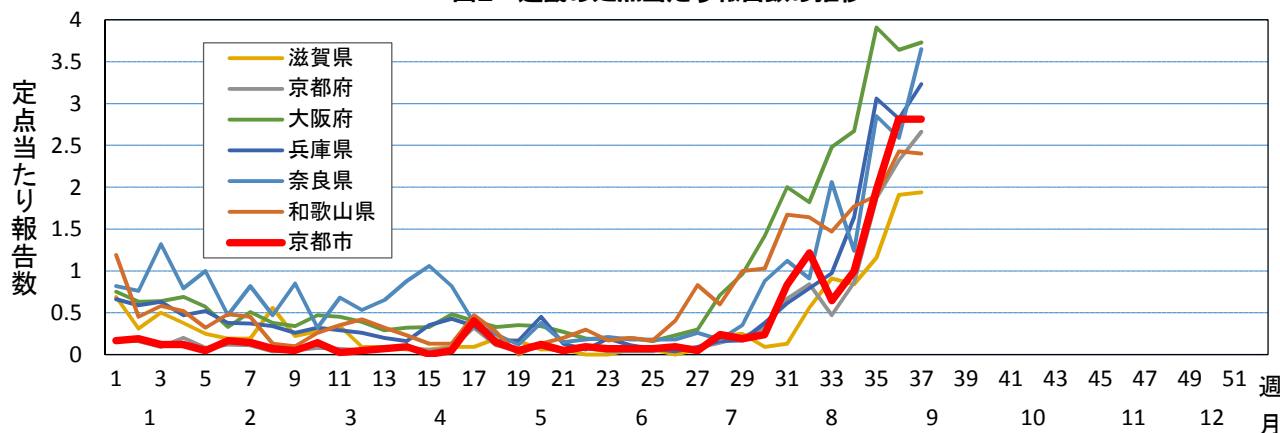
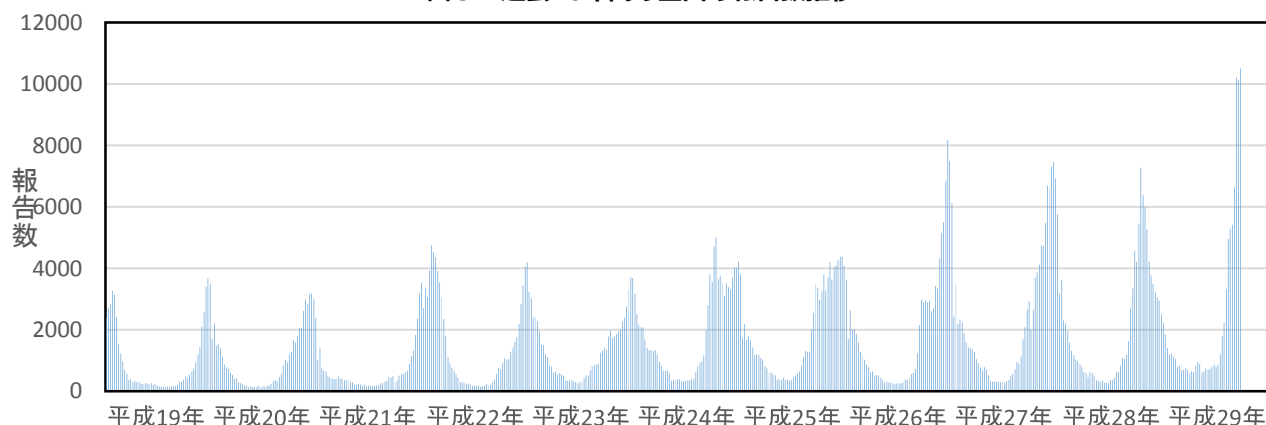


図3 過去10年間の全国の報告数推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第37週

疾病,行政区別報告数

平成29年9月11日～平成29年9月17日

データ入手日:平成29年9月20日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	2	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
北	-	2	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
上京	-	4	-	4	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	1	16	1	6	48	-	4	-	3	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-
中京	-	6	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	8	-	-	12	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	43	2	4	1	2	4	-	3	-	17	-	-	2	-	-	-	-	-
下京	1	-	-	-	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	10	-	6	5	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	12	4	17	17	1	19	-	6	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	15	1	8	42	2	12	-	3	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	5	-	3	12	2	4	-	2	-	3	1	-	1	-	-	-	-	-
京都市計	2	121	8	48	146	7	50	-	19	-	53	4	-	8	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.50	-	-	0.75	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
北	-	0.50	-	-	0.75	-	0.50	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-
上京	-	1.33	-	1.33	-	-	0.33	-	0.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	0.14	4.00	0.25	1.50	12.00	-	1.00	-	0.75	-	0.25	-	-	4.00	-	-	-	-	-
中京	-	2.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	4.00	-	-	6.00	-	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	8.60	0.40	0.80	0.20	0.40	0.80	-	0.60	-	3.40	-	-	2.00	-	-	-	-	-
下京	0.33	-	-	-	1.50	-	0.50	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	3.33	-	2.00	1.67	-	0.33	-	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	2.40	0.80	3.40	3.40	0.20	3.80	-	1.20	-	0.80	0.60	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	2.14	0.14	1.14	6.00	0.29	1.71	-	0.43	-	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	1.00	-	0.60	2.40	0.40	0.80	-	0.40	-	0.60	0.20	-	1.00	-	-	-	-	-
京都市計	0.03	2.81	0.19	1.12	3.40	0.16	1.16	-	0.44	-	1.23	0.09	-	0.80	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第37週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年9月11日～平成29年9月17日

データ入手日:平成29年9月20日

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳以上 20歳以上	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	121	10	10	55	28	12	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		8	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		48	-	2	4	3	6	7	7	9	3	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		146	-	17	28	19	15	6	3	6	3	4	4	14	6	21	-	-	-	-	-	
水痘		7	-	1	2	-	-	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		50	-	6	18	8	9	6	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		19	1	3	9	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		53	2	5	18	12	5	5	4	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	8	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳以上 20歳以上	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	0.01	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2.81	0.23	0.23	1.28	0.65	0.28	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.19	-	-	-	0.02	0.09	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.12	-	0.05	0.09	0.07	0.14	0.16	0.16	0.21	0.07	0.02	-	0.05	-	0.09	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		3.40	-	0.40	0.65	0.44	0.35	0.14	0.07	0.14	0.07	0.09	0.09	0.33	0.14	0.49	-	-	-	-	-	
水痘		0.16	-	0.02	0.05	-	-	-	0.02	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1.16	-	0.14	0.42	0.19	0.21	0.14	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.44	0.02	0.07	0.21	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		1.23	0.05	0.12	0.42	0.28	0.12	0.12	0.09	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		年齢2	0.80	-	-	-	0.20	-	-	0.10	-	0.10	-	-	0.10	0.10	0.10	0.10	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎 (※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第37週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年9月20日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	5	8	8	2	2
RSウイルス感染症	51	27	44	83	121	121
咽頭結膜熱	29	4	3	8	6	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	15	32	37	31	48
感染性胃腸炎	85	92	164	133	149	146
水痘	3	9	7	5	9	7
手足口病	90	36	89	64	78	50
伝染性紅斑	1	-	-	1	-	-
突発性発しん	17	11	14	18	20	19
百日咳	1	-	1	1	1	-
ヘルパンギーナ	22	17	25	30	35	53
流行性耳下腺炎	12	4	5	6	6	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	2	8	9	10	8
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	348	222	400	403	468	466

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	0.07	0.12	0.12	0.03	0.03
RSウイルス感染症	1.21	0.64	1.05	1.98	2.81	2.81
咽頭結膜熱	0.69	0.10	0.07	0.19	0.14	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	0.36	0.76	0.88	0.72	1.12
感染性胃腸炎	2.02	2.19	3.90	3.17	3.47	3.40
水痘	0.07	0.21	0.17	0.12	0.21	0.16
手足口病	2.14	0.86	2.12	1.52	1.81	1.16
伝染性紅斑	0.02	-	-	0.02	-	-
突発性発しん	0.40	0.26	0.33	0.43	0.47	0.44
百日咳	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-
ヘルパンギーナ	0.52	0.40	0.60	0.71	0.81	1.23
流行性耳下腺炎	0.29	0.10	0.12	0.14	0.14	0.09
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.20	0.80	0.90	1.00	0.80
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	8.67	5.39	10.06	10.21	11.89	11.43

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。